

審議状況 第32回

協議資料  
現況写真



主なポイント 指摘事項

A. 7ファード全体

①

- 階段上の形態とパッチワーク状の素材の分節が、日本大通りにふさわしいか検討が必要

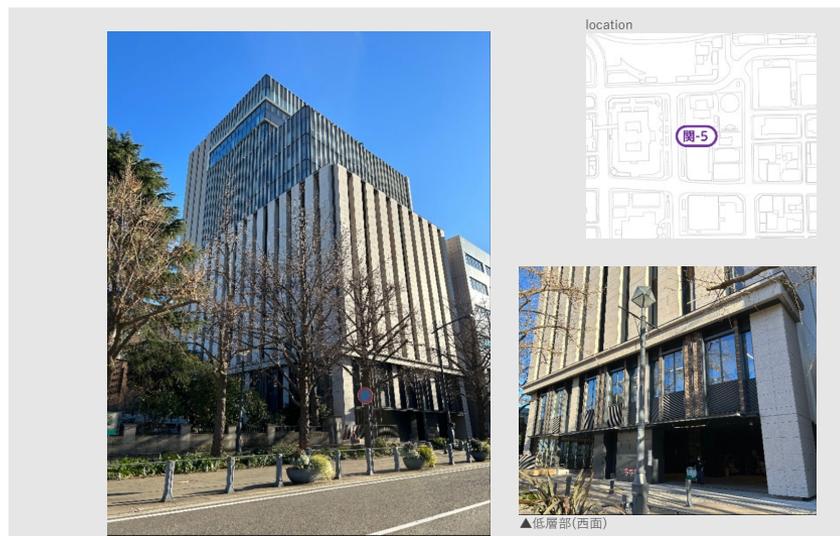
D. 中層・低層部

②

- 御影石の色彩は、日本大通りのイエロー系の街並みに似合わない
- 中層部の垂直のデザインが日本大通りにふさわしいか疑問



現況



景観形成の考え方

**文化芸術の活動促進と歴史的要素の尊重**

1階の飲食店舗や12階の展望レストランを設置し、日本大通りで行われるイベント時にも来庁者が使える場を備え、地域での文化芸術創造活動と呼応する設えとしています。屋上テラスも開放され、日常から特別なイベントまで多様な活用が想定されています。また、横浜開港資料館のコーニスに揃えた建物の分節化、ブラウン系スクラッチタイルや自然石を取り入れた彫の深い外観等、計画地を取り囲む歴史的建造物や景観上重要な要素を引き立たせる工夫を施しています。

**親密な空間の提供と関内地区の町並みの継承**

計画では、1階の店舗外部にあるオープンテラスに庇を設け、隣地の開港資料館の木陰と共に親密な空間を創出しています。31m以下の部分では、低層部と中層部をデザイン分節し、関内地区特有の町並みを継承しながら親密な空間を形成しています。

**歩行者ネットワークの活性化と低層部のデザイン工夫**

「関内地区の各エリアを結ぶネットワーク街路」に面する部分には飲食店舗を計画し、オープンカフェを積極的に行っています。また、開港資料館との間には植栽帯を計画し憩いの空間を創出しています。駐車場は日本大通りから奥まった位置とし、駐車場の停車車両が通りに直接見えない様に隠す形で街並みや賑わいの連続性を阻害しない計画としています。こうした低層部のデザイン工夫を通して、歩行者ネットワークの活性化に寄与し、地域住民や訪問者にとって魅力的な空間を提供します。

## 審議経緯

審議 32 (2016年9月23日)

## 【ファサード全体】

- 色もコーニスのあり方も、新しいシステムでありながら、この地域の中の一員として魅力あるものをさらに創造していくことができるのか、検討するとよくなる。
- パッチワークになりかねないが、文節の目指している効果がきっちり出ているのかどうか、まず検証したほうがよい。①

## 【高さについて】

- 20m弱のラインでそろっていたのが震災後の建物が持っていた歴史的なライン。31メートルだったとしても、それが最後まで抜けてしまう形で、本当にいいのか。この日本大通り上の意匠等のあり方というのを検討していくべき。
- 仮に31メートルだとしたら31で、きっちり一つの建物であるかのように横まで回したほうが良いという可能性もあるという気もする。ここのボリュームのあり方をパッチワークになり過ぎずにつくっていくのが重要。

## 【高層部】

- 3段みたいな階段状のかたちや色々な要素が表面に加わっているため、全体として意匠のバランスをもう少し検討する必要がある
- 提案されている御影石に変わる、明度を落とした、多少ブラウン系なり中間色の素材を使う検討、縦のラインの扱い方についての工夫の検討をお願いしたい。
- ファサードの分節は、どこかで水平のメリ張りをつけることで、それが本当に変な様式のまがいものになるのは避けてほしい。色の違いや、装飾でないところでも文節はできると思うが、余り細かくやり過ぎててもということがある。

## 【中層部】

- 中層部に御影石を使うと今後の景観を壊すのではないか。色彩が日本大通りの景観に合わないのではないか。②
- 中層部の垂直のデザインが強調され過ぎていて、建物自体はすごく斬新だが、この建物が日本大通りにふさわしいか疑問。②

## 【低層部】

- 低層部の開港資料館との連携やにぎわい創出を非常に工夫されていて評価したい。
- 低層部の1階・2階の門型の柱のところをグレー風の落ちついたもので、上のところを現在の分庁舎の淡いベージュ色で、それくらい抑えるような素材の入れかえをするだけで、ほかの形を余りいじらないでもよくなるのではないか。

## 【周辺との関係】

- 開港資料館との連携やつながりを言っていたように、歴史的な風合いが残るようなものにしてほしい。
- 隣の開港資料館との関係性について、ここがオープンになると、今はとてもファサードが狭いカフェテラスが、もっと広く、中に入り込むような環境ができるのではないか。
- 後ろ側の海岸教会側は、メインの中層部の大きなボリュームのところのデザインだけでも検討する必要がある。

## 基本情報

## 開発概要

①建物名	神奈川県庁東庁舎
②住所	中区日本大通り5-1
③用途地域	商業地域(80%/700%)、第7種高度地区、防火地区
④まちづくりに関する制度	日本大通用途誘導地区地区計画
⑤敷地面積㎡	1,320.90
⑥建築面積㎡	1,001.18
⑦延床面積㎡(建築物全体)	11,176.09(12,051.65)
⑧容積率(%)	846.1
⑨建蔽率(%)	75.8
⑩階数	地上13階、地下1階
⑪最高高さ(m)	59.9
⑫用途・機能	庁舎、飲食店

## 事業者

①事業者	神奈川県知事
②設計者	(株)石本建築事務所
③施工者	松尾・工藤・石井特定建設工事共同企業体